

# Forum for Nuclear Cooperation in Asia ( FNCA )

## 第 8 回大臣級会合の開催によせて

Forum for Nuclear Cooperation in Asia ( FNCA ) 第 8 回大臣級会合にご参加の皆様を心より歓迎いたします。

FNCA においては、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的發展を促進することを目的とするパートナーシップとして、放射線利用分野を中心に協力を進め、多くの成果を生んできました。これまでの FNCA の活動に対する参加国の積極的な貢献に敬意を表します。

ご存知のとおり、アジア地域は、世界の経済發展の中心であり、エネルギー安定供給や地球環境保全に向けた取組は、地域共通の課題として重要であります。その中で、エネルギーとしての原子力利用は、その両方に貢献する手段として、今まで以上に真剣に検討の対象とされる必要があります。

先日、私も参加した第 3 回東アジア首脳会議 ( EAS ) のシンガポール宣言でも、民生用原子力発電の開発及び利用のための協力について合意されました。今回、これを前進させるものとして、FNCA 大臣級会合で共同声明が取りまとめられ、アジア地域の原子力利用の拡大に向けて、安全の確保や核不拡散、核セキュリティの担保のための活動や、原子力利用を地球温暖化対策の一環として位置づけ、その導入の促進について共同して取り組むことは、歓迎すべきことであり、我が国としても、その一翼を担ってまいります。

この度の FNCA 大臣級会合での議論が実り多きものとなるとともに、ここで得られた成果が、アジア地域の發展と国際的なエネルギー安定供給及び地球環境保全に貢献することを祈念いたします。

平成 19 年 12 月 18 日

内閣総理大臣 福田康夫